

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 メイコー
 コード番号 6787 URL <https://www.meiko-elec.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 本多 正行

TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,236	10.0	1,814	46.8	560	81.5	194	91.8
2020年3月期第2四半期	59,122	4.3	3,410	39.9	3,022	52.4	2,366	55.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 155百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 1,023百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.44	
2020年3月期第2四半期	90.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	132,541	32,173	24.2
2020年3月期	129,237	32,482	25.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 32,027百万円 2020年3月期 32,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期(予想)配当金については、本日(2020年11月6日)公表いたしました「2021年3月期剰余金の配当(中間配当無配)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	0.5	5,300	2.1	3,500	26.9	2,700	4.4	103.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	26,803,320 株	2020年3月期	26,803,320 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	629,427 株	2020年3月期	629,427 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	26,173,893 株	2020年3月期2Q	26,173,895 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月12日に機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における電子部品業界は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気の低迷を経て、緩やかな回復基調となりましたが、一方で新型コロナウイルス感染拡大収束の目処が立たない地域もあり、先行きの不透明感は継続しております。

このような状況の中、当社グループでも、受注は徐々に回復基調となりました。販売面では、車載向け基板は、世界的な自動車生産が回復し顧客の転注品も戻りつつありますが、前年同期比で減収となりました。スマートフォン向け基板とIOT/AI家電向け基板は、新規案件が立ち上がりつつあるものの、前年同期比で減収となりました。一方、アミューズメント向け基板は好調を維持し前年同期比で増収となりました。EMS事業は、ベトナム工場の拡張などにより前年同期比で増収となりました。収益面では、全社的なコスト削減策を推進いたしましたが、銅や金などの資源価格の高騰や、営業外費用に為替差損933百万円を計上するとともに、特別損失に事業構造改善費用等で290百万円を計上し、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、53,236百万円（前年同期比10.0%減）と前年同期に比べ5,885百万円の減収となりました。損益面では、営業利益が1,814百万円（前年同期比46.8%減）、経常利益が560百万円（前年同期比81.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が194百万円（前年同期比91.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は132,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,303百万円増加しました。流動資産において、現金及び預金が482百万円増加、受取手形及び売掛金が533百万円増加、たな卸資産が381百万円増加、固定資産において、有形固定資産が1,476百万円増加、投資その他の資産が500百万円増加が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は100,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,611百万円増加しました。流動負債において、支払手形及び買掛金が1,624百万円減少、短期借入金が6,729百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が2,782百万円減少、流動負債のその他が466百万円減少、固定負債において、長期借入金が1,897百万円増加が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は32,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ308百万円減少しました。利益剰余金が42百万円増加、為替換算調整勘定が429百万円減少が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、14,126百万円となり、前連結会計年度に比べ479百万円増加(前年同期は1,027百万円増加)しました。

なお、上記金額のうち、非連結子会社でありました広州市斯皮德貿易有限公司を連結の範囲に含めたことにより増加した資金は、229百万円であります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,308百万円(前年同期は4,480百万円の増加)となりました。この増加は、主に税金等調整前四半期純利益272百万円、減価償却費3,655百万円による資金の増加と、売上債権の増加985百万円、仕入債務の減少1,613百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5,702百万円(前年同期は8,899百万円の減少)となりました。この減少は、主に有形固定資産の取得による支出5,466百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、4,753百万円(前年同期は5,828百万円の増加)となりました。この増加は、主に短期借入金の純増額6,708百万円、長期借入れによる収入42,607百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出43,874百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,889	14,372
受取手形及び売掛金	24,448	24,981
商品及び製品	5,148	5,518
仕掛品	5,505	5,783
原材料及び貯蔵品	8,302	8,036
その他	2,558	2,427
貸倒引当金	△135	△135
流動資産合計	59,716	60,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,205	22,332
機械装置及び運搬具（純額）	29,175	29,580
土地	1,488	1,488
建設仮勘定	4,909	6,998
その他（純額）	4,218	4,074
有形固定資産合計	62,997	64,473
無形固定資産	827	887
投資その他の資産	5,696	6,196
固定資産合計	69,520	71,558
資産合計	129,237	132,541

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,732	16,107
短期借入金	9,686	16,415
1年内返済予定の長期借入金	15,544	12,761
未払法人税等	204	86
賞与引当金	687	763
役員賞与引当金	40	—
その他	8,169	7,702
流動負債合計	52,064	53,837
固定負債		
長期借入金	40,478	42,375
役員退職慰労引当金	217	215
退職給付に係る負債	2,696	2,724
その他	1,298	1,213
固定負債合計	44,691	46,529
負債合計	96,755	100,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	6,464	6,464
利益剰余金	13,159	13,202
自己株式	△396	△396
株主資本合計	32,116	32,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	0
繰延ヘッジ損益	30	129
為替換算調整勘定	375	△53
退職給付に係る調整累計額	△224	△206
その他の包括利益累計額合計	172	△130
非支配株主持分	193	145
純資産合計	32,482	32,173
負債純資産合計	129,237	132,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	59,122	53,236
売上原価	49,961	46,499
売上総利益	9,160	6,736
販売費及び一般管理費	5,749	4,921
営業利益	3,410	1,814
営業外収益		
受取利息	44	29
受取配当金	3	2
助成金収入	133	307
その他	84	106
営業外収益合計	266	445
営業外費用		
支払利息	352	301
シンジケートローン手数料	19	409
為替差損	172	933
その他	111	55
営業外費用合計	654	1,700
経常利益	3,022	560
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除売却損	76	41
災害による損失	—	24
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	106	—
事業構造改善費用	—	223
貸倒引当金繰入額	—	0
特別損失合計	182	290
税金等調整前四半期純利益	2,842	272
法人税等	476	120
四半期純利益	2,366	152
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,366	194

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,366	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	8
繰延ヘッジ損益	△90	99
為替換算調整勘定	△3,398	△434
退職給付に係る調整額	22	18
その他の包括利益合計	△3,389	△308
四半期包括利益	△1,023	△155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,023	△108
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,842	272
減価償却費	3,345	3,655
のれん償却額	—	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	67	77
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	46
受取利息及び受取配当金	△47	△31
支払利息	352	301
為替差損益(△は益)	310	395
有形固定資産除売却損益(△は益)	76	39
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	106	—
災害による損失	—	24
事業構造改善費用	—	223
売上債権の増減額(△は増加)	△2,495	△985
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,830	△609
仕入債務の増減額(△は減少)	2,177	△1,613
その他の資産の増減額(△は増加)	225	△102
その他の負債の増減額(△は減少)	△100	99
その他	13	414
小計	5,068	2,194
利息及び配当金の受取額	47	30
利息の支払額	△376	△309
保険金の受取額	13	—
事業構造改善費用の支払額	—	△134
工場休止費用の支払額	—	△107
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△271	△365
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,480	1,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,818	△5,466
有形固定資産の売却による収入	0	569
無形固定資産の取得による支出	△88	△132
投資有価証券の取得による支出	—	△108
投資有価証券の売却による収入	5	—
保険積立金の積立による支出	△1	△1
保険積立金の払戻による収入	—	25
その他	2	△588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,899	△5,702

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,121	6,708
長期借入れによる収入	12,700	42,607
長期借入金の返済による支出	△7,892	△43,874
リース債務の返済による支出	△577	△295
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△523	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,828	4,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△382	△108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,027	250
現金及び現金同等物の期首残高	11,419	13,646
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	229
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,446	14,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、電子回路基板等の設計、製造販売及びこれらの付随業務の電子関連事業を主とし、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。